

参加
無料

DiHuCoハブシンポジウム2026

Agentic DHに向けて

～人文学×AIの多様化とAI協働型研究の広がり～

8.7 (金)



要・事前登録！

10:30-17:45

一橋講堂

(東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2)

プログラム

開催趣旨

キーワードは「Agentic DH(ADH)」。

エージェント型AIが研究プロセスを変革しつつある今、研究者が「AIの指揮者」として主体性 (agency) をどう保つかが問われています。

基調講演ではAgentic DHの課題と最新動向を俯瞰し、BOOST・SPReAD 1000採択者による研究成果・計画発表、DH人材育成をめぐるパネルディスカッションも実施します。AI活用を検討中の方も実践者も、人文学×AIの広がりを体感できる機会です。

10:30-11:45 【ワークショップ】	DiHuCo研究実践ハブの紹介 ～地理・地誌データの公開およびAgentic Publishingによるガイドライン構築	北本 朝展 (ROIS-DS 人文学オープンデータ 共同利用センター／国立情報学研究所) ※ハイブリッド (Zoom) 配信あり
13:10-13:30 【趣旨説明】	Agentic DH：デジタル化からAI化への転 回と人文学の主体性	北本 朝展 (ROIS-DS 人文学オープンデータ 共同利用センター／国立情報学研究所)
13:30-14:00 【基調講演①】	Agentic DH時代の人文学教育と文化創成学	赤間 亮 (立命館大学)
14:00-14:30 【基調講演②】	エージェント型AI入門：研究者がAIの指揮 者になる	カラーヌワット・タリン (Sakana AI)
14:40-15:00 【BOOST①】	デジタル化からAI-Ready化へ ——西洋古典テキスト基盤Humanitextの 設計と持続可能性	岩田 直也 (名古屋大学／国立情報学研究所)
15:00-15:20 【BOOST②】	古典文献読解のための翻訳・註釈生成モデル の構築	塚越 柚季 (東京大学／東京農工大学)
15:20-16:30 【ポスター】	SPReAD 1000 ライトニングトーク／ポスター発表	SPReAD1000採択者
16:30-17:40	パネルディスカッション	パネラー： 講演者4名、後藤 真 (人間文化研究機構)、小風 尚 樹 (人間文化研究機構／国立歴史民俗博物館) モデレータ：北本 朝展

主 催

DiHuCo研究実践ハブ

共 催

ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター
人間文化研究機構DH推進室

